2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">環境と社会（総合講座）</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部日文2回生 教育教福2回生 文学部英米2回生 文学部教福2回生 文学部文財2回生 文学部コミ2回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">櫛本 五男</p>
<p>授業テーマ</p> <p style="text-align: center;">地球環境をまもる科学の知恵</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>人類は、地球上では生態系の一員にすぎない存在であるが、あまりに急激な人口増加や、資源・エネルギーの大量生産と大量消費、有害化学物質の生産・使用などによって自然生態系を大きく攪乱しております。地域によっては動植物のみならず、人類の生存そのものが脅かされていると言っても過言ではありません。地球環境問題について、その歴史をふり返りつつ、環境悪化の原因、影響、対応策などを考えましょう。また、環境に対する価値観や倫理観はいかにあるべきかも考えましょう。</p>		
<p>評価方法</p> <p>出席状況（60%）とレポート（40%）により評価します。</p>		
<p>テキスト</p> <p>講義にはプリント、ビデオディスク、レーザーディスクを使用する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p>明日の環境と人間</p> <p>環境科学の基本</p>	<p>著者 川合真一郎 山本義和 塚谷恒雄</p>	<p>出版社 化学同人 化学同人</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間と環境 : 人口問題、食料問題、資源・エネルギー問題、科学技術の発展と環境問題、環境に対する価値観と倫理観 2. 地球規模の環境問題 : 地球の温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨 3. 森林の減少、海洋汚染、砂漠化と土壌侵食 4. 国内の環境汚染 : 大気汚染、自動車公害、水質汚染 5. 食品の安全性、廃棄物問題 6. 環境汚染物質の生態へ影響 : 環境汚染物質の生物濃縮、内分泌攪乱物質（環境ホルモン） 7. 環境保全とまとめ 		